

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和2年3月19日（木）

### 2 確認箇所

- ・ 1号機タービン建屋北側
- ・ 2、3号機原子炉建屋間道路

### 3 確認項目

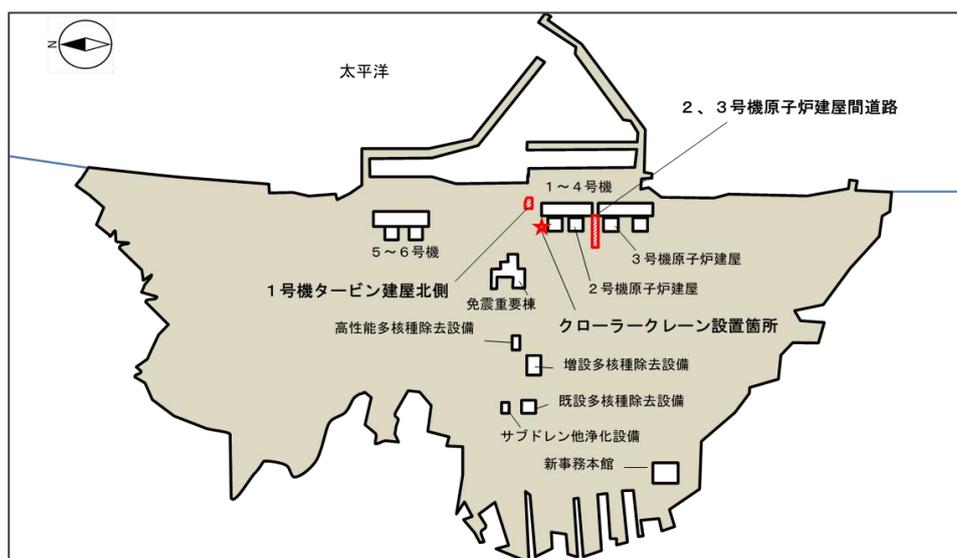
- (1) 1号機北西ヤードのクローラークレーンからの油漏れ事象
- (2) 1～4号機周辺のフェーシング工事等の状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 1号機北西ヤードのクローラークレーンからの油漏れ事象について

本日（3月19日）8時6分に1号機北西側ヤードのクローラークレーンから油が漏れいしていることを協力企業作業員が発見したことから、現場の状況を確認した。（図1）

- ・ 現場確認時（10時30分頃）、クローラークレーン下部で吸着マットを用いた油回収及び周辺への拡大防止処理が行われていた。（写真1）
- ・ 当該クローラークレーンは1号機原子炉建屋ガレキ撤去で用いる小型クレーンを吊ったまま停止していた。（写真2）
- ・ 東京電力によると、漏れいした油はクレーンの作動油であり、漏れい範囲は約3.6m×4.0m、深さ約7mmであるとのことであった。なお、16時20分に漏れいした油の回収を完了したとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
クローラークレーン周囲の状況



(写真2)

(2) 1～4号機周辺のフェーシング工事等の状況

放射線量率低減による作業環境の改善や雨水の地下浸透を抑制し建屋内への地下水流入量の低減を目的として、建屋周りではガレキの撤去や道路等の整備及びフェーシング（以下、「フェーシング工事等」という。）が行われている。1号機タービン建屋北側については平成31年4月23日から、2、3号機原子炉建屋間道路については令和元年9月5日からフェーシング工事等が開始されていることから状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和元年12月11日](#)）

- ・1号機タービン建屋北側については、純水タンク周辺の整備工事としてフェーシング工事が実施されていたが、作業はほぼ終了していた。（写真3）
- ・2、3号機原子炉建屋間道路については、コンクリート基礎の上にアスファルトを敷設する作業が実施されていた。（写真4）



(写真3-1)  
純水タンク周囲の状況



(写真 3 - 2)



(写真 4)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。